

施工前にこの説明書をお読みの上、正しく施工してください。

平形新生瓦・金属屋根用
タニタ換気棟

片棟S形 施工説明書

適用範囲

●タニタ換気棟片棟S形は片流れ屋根専用の換気棟です。

適用勾配

※
●タニタ換気棟片棟S形は、0.5寸～8寸 までの屋根勾配にご使用いただけます。
出荷段階でのカバーは、2.5寸勾配に設定しています。施工する屋根勾配に調整して
からご使用ください。

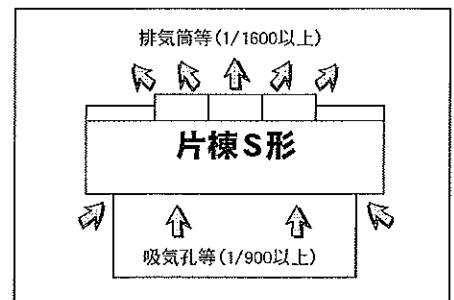
※屋根と対応勾配

【平形新生瓦】 2.5寸～8寸 【瓦棒・立平葺き】 0.5寸～8寸 【平葺き】 3寸～8寸

施工本数

●施工本数は住宅金融支援機構の技術基準に準じます。(下記)

排気筒その他の器具を用いた排気孔は、できるだけ小屋裏頂部に設けることとし、排気孔の有効換気面積は、天井面積の1/1600以上とする。
また、軒裏等に設ける吸気孔の有効換気面積は、天井面積の1/900とする。



施工上のご注意

- 片棟S形の上には乗らないでください。変形や雨漏りの原因となります。
- 片棟S形は切断しないでください。調整は片棟S形用棟包みでおこなってください。

商品仕様

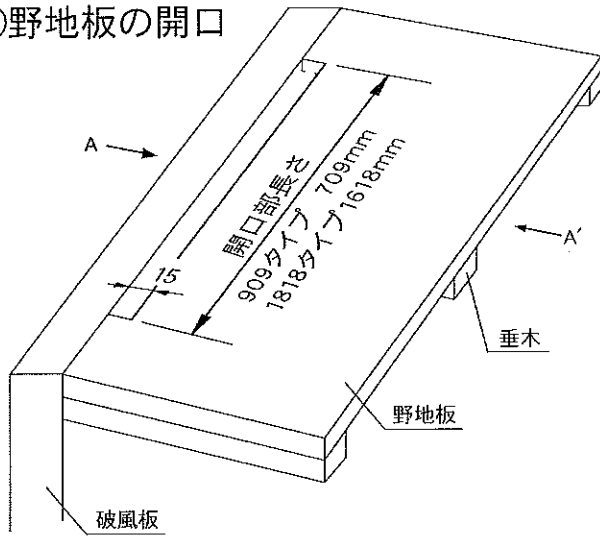
タイプ	有効換気孔面積	適応天井面積
909タイプ	59.4cm ²	9.5m ²
1818タイプ	118.8cm ²	19m ²

商品一覧

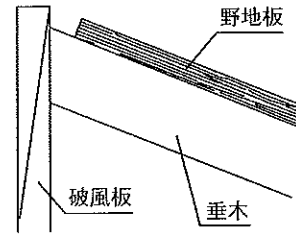
	本体	捨水切	付属部品	本体断面図
909タイプ	<p>カバ- ベ-ス 909 防水シ-ル材</p>	<p>909mm 1本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ベ-ス取付ネジ (φ4×ℓ32) 3本 ●カバ-取付ネジ (φ4×ℓ16) a (φ4×ℓ32) b a・b 各3本 	<p>防水シ-ル材</p>
1818タイプ	<p>カバ- ベ-ス 1818 防水シ-ル材</p>	<p>1818mm 1本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ベ-ス取付ネジ (φ4×ℓ32) 6本 ●カバ-取付ネジ (φ4×ℓ16) a (φ4×ℓ32) b a・b 各5本 	<p>棟包み(別売) ジョイント(別売)</p>

取付け前の準備

①野地板の開口



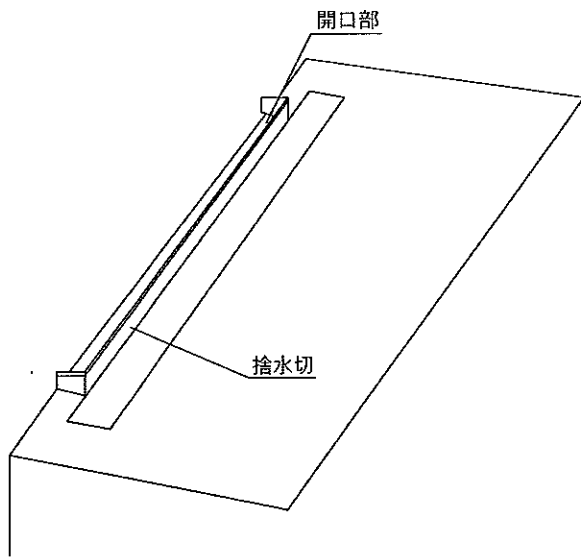
- 片棟S形の取り付ける位置をきめます。
- 開口部の幅寸法は野地板の端部から15mm、長さ寸法は片棟S形の全長より200mm以上(片側100mm以上)短くなるように開口してください。(連結で使用の場合も同様です。)



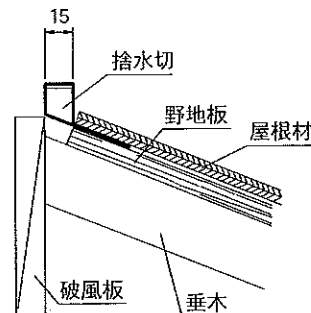
A-A' 断面図

②開口部の納め

平形新生瓦の場合

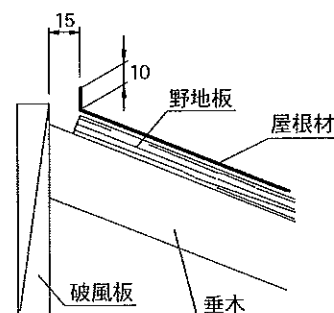


- 開口部の下葺材は切り取ります。
- 開口部に合わせて「捨水切」の端部を、現場加工にて納めてください。
- 隙間が発生する箇所には、コーキング等で防水処理を施してください。
- 屋根材を「捨水切」まで葺き上げます。



金属屋根の場合

- 屋根が葺き上がりましたら、野地板開口部で屋根材を10mm程度立ち上げて納めてください。
- 片棟S形の取り付け位置に当たる屋根材の縦ハゼは、屋根の凹凸がなくなるようにつぶしてください。

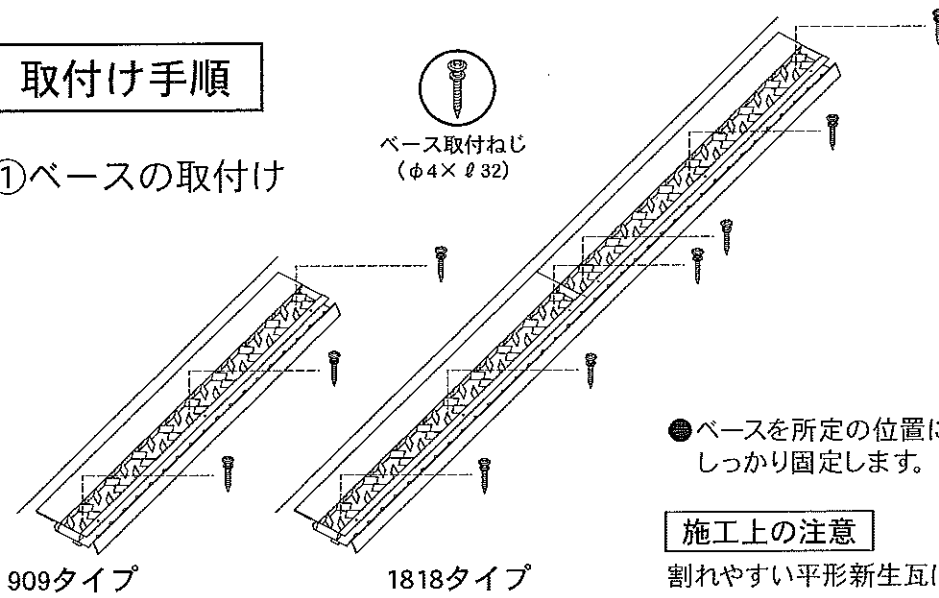


施工上の注意

- 瓦棒葺き・立平葺きには、笠木やエプロン面戸の追加、八千代折り加工等の雨仕舞が必要になります。
- 野地板開口部での「捨水切」または「屋根材」立ち上げで、排気孔をふさがないようにしてください。

取付け手順

①ベースの取付け

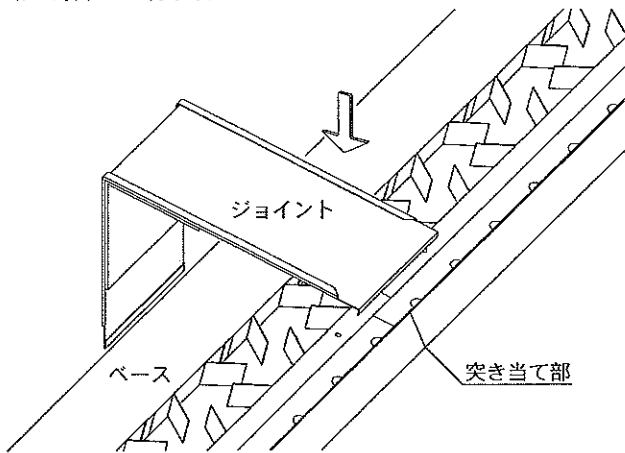


- ベースを所定の位置に合わせ、付属のベース取付ねじでしっかり固定します。

施工上の注意

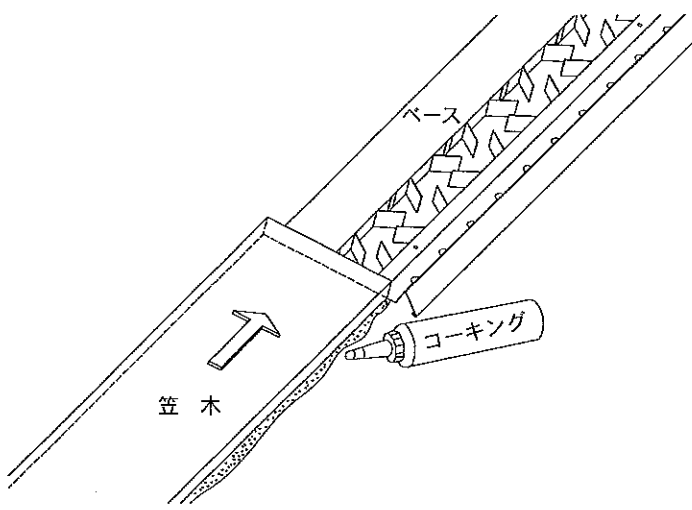
- 割れやすい平形新生瓦は、ドリルで下孔を開けてください。

(連結の場合)

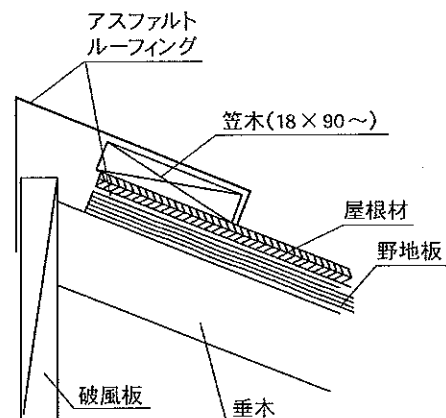


- 片棟S形を2本以上連結してご使用の際は、突き当て部に隙間が出来ないようにしっかり突き当てて施工してください。
※突き当て部にはコーキング等で防水処理を施してください。
- 片棟S形を連結してご使用の際は、ジョイントを屋根勾配に調整して、ベース突き当て部の上に被せます。

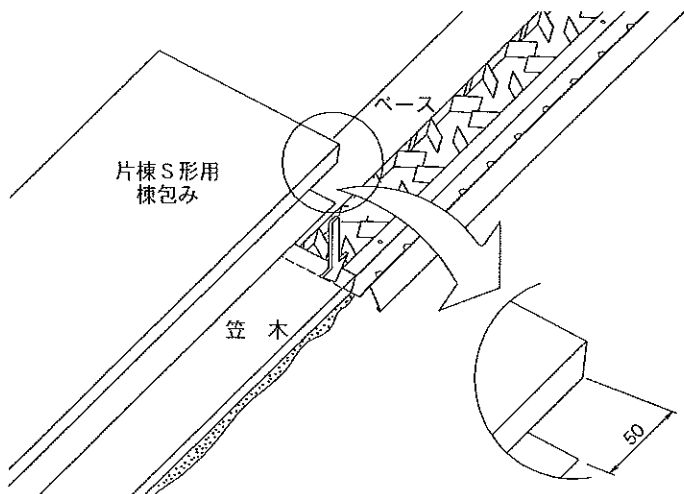
②笠木の取付け(現場調達品 厚さ18mm×幅90mm～)



- 笠木を片棟S形の端面に突き当てて施工してください。
※突き当て部や笠木と屋根材の隙間にはコーキング等で防水処理を施してください。

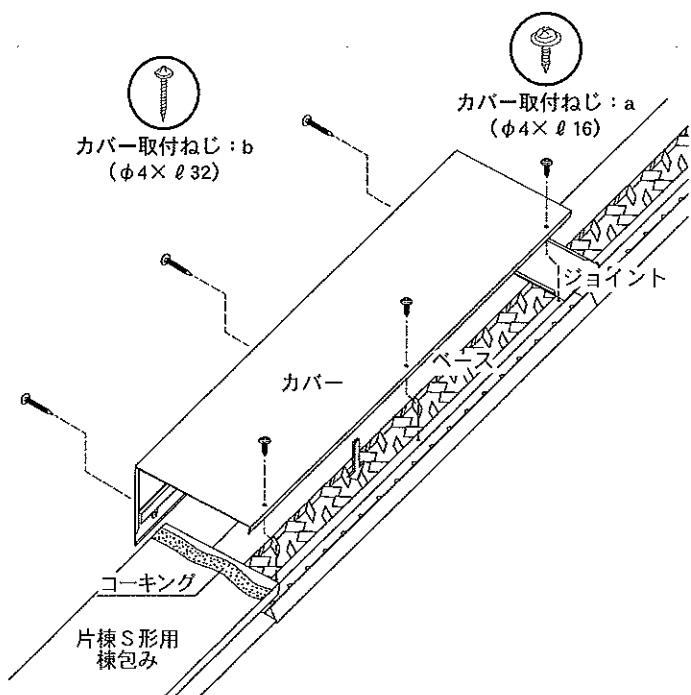


③棟包みの取付け（別売）



- 棟包みのツバ部分を50mm程度切り欠きます。
- 棟包みの切り欠き部分のベースに被せるように笠木に取り付けます。

④カバーの取付け



- 棟包みの重ね部にコーキング等で防水処理をして片棟S形のカバーを被せます。
 - ベースとカバーのねじ孔を合わせ、付属のカバー取付ねじで固定します。
- ※付属のカバー取付ねじは2種類ありますのでご確認の上、ご使用してください。

施工上の注意

カバー取付ねじ：a(φ4×ℓ16)を取付ける際に電動ドライバーをご使用の場合は、最少トルク(10kg・cm)でご使用ください。

防水シールの耐候性について

防水シール材は30年間の暴露試験に於いてなんら問題が発生しておりませんので、安心してご使用頂けます。



雨のみちをデザインする

株式会社 タニタハウジングウェア

※施工・技術についてのお問い合わせは弊社へ
フリーダイヤル：0120-011-849